

## ■ 生き方やつながりを考えよう（新堂中学校）

### 1 【活動の趣旨】

体験的な学びを通して、さまざまな地域課題の解決に本校生徒が主体的に関わり、地域社会の一員としての意義および行動力を身につけることを目的としている。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○ 1年生地域学習「フィールドワーク」

班単位で校区内を徒歩・自転車でもわり、地域の歴史や文化、その他まちづくりセンターや消防署・交番・郵便局など、地域のよさを再発見する機会とした。

#### ○ 2年生進路学習

キャリア教育の一環として、まず、地域の方々に職業講話の講師として来ていただき、「働く」ということについて考える機会とした。また、11月末の5日間、職場体験学習として実際に仕事体験を行った。

#### ○ 3年生保育体験学習

家庭科と総合的な学習の時間のコラボで、保育について授業で学んだあと、学級単位で地域の保育所・こども園に出向き、実際に保育について体験した。



【1年生地域学習】



【2年生進路学習】

### 3 【実施に当たっての工夫】

草津市が取り組んでいるESD教育の一環として、今年度の本校の取り組みのまとめを、1、2年生が令和7年1月31日に発表した。これまで総合的な学習の時間で学んだ内容を、他の生徒が知る機会とするだけでなく、保護者や地域の方々へ広く情報発信していくために、発表会を公開することにした。



【3年生保育体験学習】

### 4 【事業の成果】

本校の生徒は、元々地域の行事や取り組みに参加し貢献したいと考える割合が非常に高い。そのため、元来地域の方や講師の方と生徒が主体的かつ積極的に交流したり質問したりすることができるが、それに加え、発信できる力が今後さらに身につけてくるものと思われる。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

令和5年に施行されたこども基本法の理念により、従来の教師主導型の取り組みではなく、子どもが主体となって活動することの意義が重要視されることとなったので、ESD教育の推進と相まって、生徒が自ら学んだことをいろいろな形で発信する機会を増やしていきたい。